

事務事業名	チェーンバーストイレ通路屋根整備事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G	国県事業G	課長名	嘉本 俊一
施策名	(13)広域幹線道路の整備	担当者名	富山 照夫	電話番号	0854-40-1064
目的	対 道路(国道・県道、高速道路)利用者	意図	雲南市と他都市及び市内を安全で便利に移動できる。	(内線)	2461
基本事業名	(037)国道・高速道路の整備促進	予算科目	会計 014008 款 101501 目 01	大事業名	国道・県道整備事業
目的	対 道路利用者	意図	安全で便利に国道・高速道路を利用する。	中事業名	高速道路整備関連事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	(事務事業の概要) 雲南吉田チェーンベース内に国土交通省がトイレを設置されることから、トイレから道の駅まで屋根を設けた。 これによりチェーンバーストイレ利用者が、道の駅まで雨に濡れることなく、また冬季の雪や凍結でもスムーズに立ち寄れるようにした。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動)		28年度計画(28年度に計画する主な活動)			
		建築工事 電気工事					
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	ア 整備建築面積	m ²			34		
	イ						
	ウ						
	エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	チェーンバーストイレ利用者	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
			ア 計画建築面積	m ²			34	
			イ たたらば壱番地入込客数	人			470,632	
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	快適にチェーンバーストイレや道の駅を利用してもらう。	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
			ア 整備率	%			100.0	
			イ					
			ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
工事費 10,637千円 委託費 499千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円			10,500	
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円			636	
	事業費計(A)	千円			11,136	
	人件費	人			2	
	正規職員従事人数	人				
	延べ業務時間	時間			100	
	人件費計(B)	千円			391	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			11,527	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
雲南吉田チェーンベース内にはトイレがなく、チェーンベース利用者は道の駅のトイレを利用していた。	設計時に鉄骨造・木造の経済比較を行いコスト削減を図った。また積雪時の耐荷重や落雪方向の検討等、雪に対して十分検討した。	道の駅出店者から、利用者の利便性向上に繋がるため、出来るだけ早く整備してほしいとの意見があった。

事務事業名	チェーンペーストイル通路屋根整備事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	チェーンペーストイルと当該屋根と道の駅を一体的な建物として整備することにより、成果は向上するが、建物・敷地所有者が違うことや、建築基準法上不可能である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	27年度で完了したため。
<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	<input type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由		27年度で完了したため。
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		27年度で完了したため。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		27年度で完了したため。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		不特定多数の人が利用する施設であり、公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																
27年度で完了したため。																			